

多治見高校トピックス 多治魂セミナーNo.9 ～河川生態系に関する研究～

第九回の多治魂セミナーは令和元年11月20日（水）の放課後に、土木研究所自然共生研究センターの研究者、森照貴さんをお招きし、ヤマカまなびパークにて開催しました。多治見高校から21名、多治見北高校から2名の生徒が参加してくれました。森さんには、河川生態系の研究についてご紹介していただきながら、仮説を立ててそれを検証する科学的手法についてお話ししていただきました。また、生物学や物理学がいかに関わりの生活に関わり、また、それぞれの学問が現在も発展していることをお話ししていただきました。



<生徒の感想>

- 研究を行うには既存の概念、常識に疑問を投げかけることが大事だとわかりました。そして、今日お話ししていただいた研究者の方々の“ものを見る目”がとても優れていると感じました。生態学者は瞑想したり、野外で大掛かりな実験をしたりと子供の頃の夢を実践している人だと思った。私もそのような研究生活がしたいです。
- 生態学の研究が環境学につながって、研究の幅が広がっていくことを知って、おもしろそうだなと思いました。色々なことを学ぶことは自分の小さな世界を広げられるので、自分もどんどんそういったことをやっていきたいと思いました。

たじこん

多治魂セミナーとは…多治見高校では、生徒の皆さんに学ぶ面白さを体感してもらうために、大学などの研究機関や企業で「熱い思い」をもって活躍されている方を招いて講演会をしていただいています。このセミナーは、多治見高校生以外にも近隣の学校からも参加でき、また、質疑応答の時間を長めに取って、講演者と生徒の皆さんが対話・議論する時間がたっぷりある点が特徴です。

担当：佐賀達矢